

最近カンボジアを訪問した人たちが一様に驚くことの一つに、移動の簡単さがあります。以前はタクシーもほとんどなく、バイクの後ろに乗るバイクタクシーやカーゴをバイクにつないだいわゆるトゥクトゥクと場所を手ぶり身振り交えて説明して値段交渉をしなければいけなかったのが、日本などよりも数段簡単なスマホのアプリに行き先を地図上で入力してクリックするだけで、迎えがきたら乗り込むだけで、到着したらスマホに表示された料金を払うだけ。急速な普及で首都プノンペン市内ならまず遅くとも3分以内には来てくれるという便利さ。ドアツードアで安くて会話不要でどこにでも簡単に行ける、もともと遅れていた国では逆に新しものはスツと導入されてパッと普及するのがおもしろいですね。



今回のお客さん紹介はクリーニング店を経営するリー・サングさん。

7年前から始めたクリーニング屋さん、首都プノンペンでは急激な経済の発展に正比例して仕事が忙しくて自分で洗濯する時間がない人が増えてるため、安くて手軽なクリーニング屋さんが大繁盛しています。私も日ごろからクリーニングを利用していますが、Yシャツもスラックスも、洗濯してアイロンまでしてもらって1枚1000リエル=25円くらいという安さです。



大型の全自動洗濯乾燥機を購入するためにライスマのローンを利用していただきました。今サングさんのお店には全自動洗濯乾燥機が6台になりましたが、3台目からは全部ライスマのローンを利用してもらっているということで、もう4年前からのお客さんです。お母さんがメインで、大学生と高校生の娘さん2人が学校が終わった後にアイロンがけなど手伝って家族みんなで助け合って生活しているということで、親子の断絶とか家庭内暴力とかとは縁遠いカンボジアのこういうところはいいところですね。



今のローンがあと3か月で完済となるのを待って、業務用のアイロンとアイロン台をまた新しいライスマローンで購入したいと言ってくれています。



働き者の女性たちですが、はて、お父さんは何をされてるのだろうかと聞いてみよと思ったら、ちょうどお父さんが戻ってきました。なんと、それが冒頭で紹介した配車アプリのトゥクトゥクの運転手さんをされてるということで、しかもこのお父さんのトゥクトゥクを買うお金も我々ライスマのローンだったということでした。

もう一段上の、もう少し良い暮らしをしたいと協力して頑張る家族をこうして応援して成功していくのを見るのは我々もうれしいものです。娘さんたちもしっかり勉強して大学卒業して幸せな家庭を持てるといいですね。